

各 位

「いのちの授業」推進のお願いと、「いのちの授業」新刊本の献本について

全国の学校において、「いのちの授業」がより一層推進されることを願い、「広げよう！いのちの授業」プロジェクトを進めています。

その柱として、**今般、学校現場で活かせる、教師の生の声に答える、新刊本：「いのちの授業」をつくる**（鈴木中人・玉置崇/著、さくら社）を出版いたしました。「いのちの授業」を願う方々の志により、**本書を献本**させていただきます。

本書をご活用ご紹介賜り、「いのちの授業」をぜひ進めていただきたくお願い申し上げる次第です。

子どもたちが、いのちを大切にしてほしい！

そう願って、たくさんの方々が「いのちの授業」に取り組んでいらっしゃいます。一方で、現実の中で、戸惑い、悩み、壁にもぶつかってしまいます。

いじめ、自殺、虐待、凶悪犯罪、生きる力の喪失…。**子どもたちは、いのちの危機の中にいます。**いのちを育むために、学校、家庭、地域が共に取り組んでいくことも重要になっています。

子どもの心はどうなっているのか。いのちの大切さをどう伝えたらいいか。忙しい、やっても変わらない、空しくなる。学校だけでは解決できない壁がある。みんなはどうしているのだろう…。

あなたも、そう思われているのではないのでしょうか。

そこで、**体験も視点も違う二人が、今の時代に求められる「いのちの授業」の本**を綴りました。

長女を小児がんで亡くして、その体験を語る「いのちの授業」を全国で実践する鈴木中人（NPO 法人いのちをバトンタッチする会代表）。元中学校長、現大学教授、授業づくり・学校経営の達人で教育界の大ベテラン玉置崇（岐阜聖徳学園大学教授）。

二人が、泥臭く多面的に「いのちの授業」をみつめます。具体的には、「いのちの授業」とは何をどのように学ぶのか。子どもたちに伝えたい「いのちのメッセージ」。「いのちの授業」づくりの実践ヒント。現場の教師が抱える「いのちの悩み」にも答えます。

心に深く響き、きっと「いのちの授業」の“道しるべ”となってくれるものです。

みなさまのお力を賜り、「いのちの授業」を通じて、**未来を託す子どもたちの「生きる力」を育み、「いのちの授業」の輪を社会に広げて**いただきたく心よりお願い申し上げます。

2022年8月吉日

呼びかけ人一同

野口芳宏（植草学園大学 名誉教授）	押谷由夫（武庫川女子大学教授、前日本道德教育学会会長）
観山正見（岐阜聖徳学園大学 学長）	水川和彦（岐阜県岐阜市教育委員会 教育長）
野木森広（愛知県岩倉市教育委員会 教育長）	佐々木尚也（愛知県東栄町教育委員会 教育長）
志賀内泰弘（小説家、プチ紳士・淑女を探せ！運動代表）	水谷謹人（日本講演新聞 編集長）
上甲 晃（志ネットワーク 代表）	柳瀬貴夫（EDUCOM 取締役 会長）
山田貞二（岐阜聖徳学園大学 准教授）	
玉置 崇（岐阜聖徳学園大学 教授）	鈴木中人（NPO 法人いのちをバトンタッチする会 代表）

■ みなさまへお願い

・本書は、いのちを育み、学校現場で起こる「いのちの課題」への道しるべとなるものです。

- ① 授業づくり、学級運営、学校経営の手引書として、**ご一読ください。**
- ② 道徳、総合の時間、保健集会、短学活、研修や勉強会などで、**ご活用ください。**
- ③ 「いのちの授業」に取り組む方々（教育委員会：道徳や保健などの指導主事、学校：校長先生や担任の先生、PTAや地域のみなさんなど）に、**ご紹介ください。**
- ④ 学校で、地域で、「いのちの授業」に**取り組んでください。**

■ 献本される新刊本について

・タイトル＝「いのちの授業」をつくる （さくら社、税込 1760 円）

・著者＝鈴木中人、玉置崇
 <鈴木中人>

長女を小児がんで亡くし、「いのちの授業」「がん教育」に取り組む。千校を超える学校を訪問。「いのちの授業」には全国で三十万人以上が参加。小学校道徳の教科書（学研教育みらい）にもなる。現在、いのちをバトンタッチする会代表。

<玉置 崇>

小中学校、中学校長、文部教官、愛知県教育員会など一途に教育に携わる。愛される学校づくり、授業づくりの達人、笑いと元気のメッセンジャーとして全国に知られる。現在、岐阜聖徳学園大学教育学部教授、授業と学び研究所代表、文科省や愛知県などの専門委員なども務める。

・特長

- 学校現場で活かせる「いのちの授業」を提案。
- 「教師として」のその前に、自分に問いかける感動の教育書。

<内 容>

- ① 「いのちの授業」の見方・考え方を深めることができる。
- ② 心揺さぶる「いのちの実話」（20 話）を話材集として提供。
- ③ 「いのちの授業」つくりの実践ヒント、心得などを提案。
- ④ 今、現場教師が抱える「いのちの悩み」に答える。



もしも自分なら、どうするだろうか？

本日は「いのちを育む」を心掛けた授業だと認められることこそ、実はとても難しい。その大変さはわかっても、授業にやる気はない……。そんなあなたこそ、読んでほしい。

「教師としてのその前に、ご自身に問いかけながら読んでください。

30万人以上が参加した、涙した心揺さぶる感動の授業！

さくら社

■ 連絡先

・「広げよう！いのちの授業」プロジェクト事務局

NPO 法人いのちをバトンタッチする会 鈴木中人 〒471-0868 愛知県豊田市神田町 1-8-8

電話 0565-31-4399 inochi.jugyou@inochi-baton.com

公式サイト <https://inochi-baton.com> 「いのちの授業 鈴木中人」で検索

以上